

事務事業評価表 平成22年度

政策 明日につながる産業の振興

施策 都市型農業の推進

基本事業 潤いと活力に満ちた農村の実現

事業名 **農村環境改善センター維持管理費**

[3001]

部名	経済部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	農業振興課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>農村環境改善センター</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>農村環境改善センターが適切に運営管理される。</p>
	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>農村環境改善センターの維持 管理に要する経費。</p>
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	施設数	施設	2	2	2	2
対象指標2						
活動指標1	維持 管理経費	千円	12,288	13,018	13,232	13,570
活動指標2	開設日数	日	335	330	330	335
成果指標1	利用者数	人	12,706	10,973	11,576	11,839
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	12,288	13,017	13,232	13,570
正職員人件費 (B)		千円	2,931	2,507	2,489	2,498
総事業費 (A) + (B)		千円	15,219	15,524	15,721	16,068

費用内訳	
21年度	<p>需用費 5,724千円、役務費 153千円、委託料 7,189千円、使用料及び賃借料 32千円、原材料費 6千円、備品購入費 128千円</p>

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	農業者のための農業経営の改善、農村生活の向上及び健康の増進を図るため、江北地区及び野幌地区に農村総合整備モデル事業により建設した。	事業を取り巻く環境変化	昭和54年・55年度の開始以来、29年間の経過の中で施設全体が老朽化しており、維持管理に大きな問題が生じている。また、指定管理者制度の導入により流動的な要素もある。
--------	---	-------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由・
根拠は？

江別市農村環境改善センター設置条例に基づく事務です。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由・
根拠は？

生活環境の向上を図り、快適な生活をおくことを趣旨とした上位の基本事業に合致した内容であるので、一定の貢献度はあります。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由・
根拠は？

施設の運営管理においては、一定計画どおりに進んでいるが、維持管理については、施設補修計画が滞っています。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

老朽化施設であるため、通常の施設利用者に支障を来している状態なので、施設補修することで成果を上げることは可能であります。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある

ない

理由・
根拠は？

平成18年度から実施の指定管理者制度により施設運営及び維持管理による経費節減の可能性は出てきますが、施設の老朽化が進んでおり、大規模改修を視野に入れながら制度を検討しなければならず、また場所柄、支出に見合った歳入（使用料）が見込めないため非常に困難であります。